



常陸太田市

議会だより

No. 153
平成30年8月5日

HITACHIOTA

発行 常陸太田市議会
常陸太田市金井町3690番地

●責任者 議長 益子 慎哉
●電話 0294(72)3111(代)

●編集 広報委員会
FAX 0294(73)1119



常陸太田市フォトコンテスト作品から タイトル 一面のそば畑 撮影者 林陽子

■ 平成30年 第2回定例会 開催 ■

主な内容

議案賛否一覧	2～3	議会報告・意見交換会	10～11
議案質疑	3	議会日誌・議会運営委員会	11
一般質問	4～7	全国市議会議長会・茨城県市議会議長会	
常任委員会審査	8～9	から表彰状・編集後記	12
議会トピックス	9		

市議会ホームページ : <http://www.city.hitachiota.ibaraki.jp/page/page000564.html>

フェイスブック : <https://www.facebook.com/hitachiota.shigikai>

市議会
ホームページ



市議会
フェイスブック



第2回定例会

提案理由説明(要旨)



大久保 太一 市長

第2回定例会の提出議案は、専決処分の報告7件、平成29年度の繰越明許費繰越計算書の報告2件、条例の一部改正4件、並びに平成30年度一般会計補正予算1件、合わせて14件。専決処分については、特別交付税の確定や市債の変更等にかかわる予算措置、平成29年度の一般会計並びに下水道事業特別会計補正予算、平成30年度の一般会計補正予算は、西山研修所

の管理運営にかかわる予算措置を。さらに、地方税法等の改正に伴う市税条例、都市計画税条例、国民健康保険税条例、指定地域密着型介護予防サービスの事業に関する条例の一部改正を専決処分としたものです。なお、会期中に工事請負契約1件、市税条例の一部改正1件、平成30年度一般会計補正予算1件、人事案件1件を追加提案する予定です。

第2回定例会 議案賛否一覧

△全員賛成で可決した議案▽

報告第1号	報告第2号	報告第4号	報告第5号	報告第6号	報告第7号	報告第8号	報告第9号	議案第43号	議案第44号	議案第46号	議案第47号
専決処分の承認を求めることについて(常陸太田市市税条例等の一部を改正する条例)	専決処分の承認を求めることについて(常陸太田市都市計画税条例の一部を改正する条例)	専決処分の承認を求めることについて(常陸太田市指定地域密着型介護予防サービスの事業に関する条例の一部を改正する条例)	専決処分の承認を求めることについて(平成29年度常陸太田市一般会計補正予算(第8号))	専決処分の承認を求めることについて(平成29年度常陸太田市下水道事業特別会計補正予算(第4号))	専決処分の承認を求めることについて(平成30年度常陸太田市一般会計補正予算(第1号))	平成29年度常陸太田市一般会計予算繰越明許費繰越計算書について	平成29年度常陸太田市下水道事業特別会計予算繰越明許費繰越計算書について	常陸太田市空家等の適正管理に関する条例の一部改正について	常陸太田市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	常陸太田市都市公園条例の一部改正について	平成30年度常陸太田市一般会計補正予算(第2号)について
議会	議会	議会	議会	議会	議会	議会	議会	議会	議会	議会	総務
承認	承認	承認	承認	承認	承認	報告	報告	可決	可決	可決	可決

議案第48号	常陸太田市市税条例の一部改正について	本会議	原案可決	議案第50号	平成30年度常陸太田市一般会計補正予算(第3号)について	本会議	原案可決
議案第49号	常陸太田市清掃センター基幹的設備改良工事請負契約について	本会議	原案可決	議案第51号	常陸太田市及び一部事務組合公平委員会委員の選任について	本会議	原案同意

△賛否の分かれた議案▽

報告第3号	議案名	付託委員会	審査結果	議決結果
報告第3号	専決処分の承認を求めることについて(常陸太田市国民健康保険税条例の一部を改正する条例)	宇野隆子	○	原案承認
議案第45号	常陸太田市駐車場設置及び管理に関する条例の一部改正について	高木義久	○	原案可決
		黒沢守	○	
		後藤照雄	○	
		川又正文	○	
		福地猛	○	
		茅根小太郎	○	
		成井勝幸	○	
		高星秀峰	○	
		深谷伸也	○	
		菊池晶邦	○	
		平山涉	○	
		深谷郁郎	○	
		木村謙二	○	
		藤田一則	○	
		諏訪勝美	○	
		菊池信隆	○	
		小室一政	○	
		森山	○	

【○：賛成 ×：反対 欠：欠席】
 ※議長の見解は表決権・過半数議決の場合、議長には表決権がありません。ただし、賛成・反対が同数の場合、可決か否決か決定することができます採決権が認められています。

議案質疑

(第2回定例会)

問 報告第3号 常陸太田市国民健康保険税条例の一部を改正する条例について、国民健康保険税限度額の引き上げに伴い、現行の54万円から58万円までの間に引き上げになる世帯について伺いたい。

答 保健福祉部長 平成29年度課税状況では、現行の54万円から58万円までの間に値上げになる世帯が14世帯である。内訳については、54万円から55万円未満が6世帯、55万円

問 議案第47号 平成30年度常陸太田市一般会計補正予算(第2号)の定住促進住宅整備に伴う債務負担行為について伺いたい。

答 企画部長 この事業は、民間資金等を活用し、子育て世帯の住宅を整備することを目的としている。事業者の選定は、公募によりプロポーザル方式で行い、今年3月に基本協定を締結している。なお、建物に係る契約手続きは竣工後の来年

1月を予定しているが、事業の期間が平成61年3月31日までであるため、今回、補正予算額6億5088万円の債務負担行為を計上した。
 また、事業期間終了後には、建物を市に1円で譲渡され、引き続き賃貸住宅としての利用を予定しているが、今後の社会情勢、当市の人口動態、さらには賃貸住宅の需要状況などを十分に見極めながら判断してまいりたい。

一般質問

平成30年第2回定例会の一般質問は一問一答方式で行われ、8名の議員が登壇しました。(次ページから掲載)

※掲載内容は一般質問の一部を要約したものです。発言の詳細は議会ホームページ・市図書館で公開する会議録をご覧ください。



藤田 謙二
議員

問1

就学前の子どもや小学生を対象としたスポーツ少年団が活発に活動を展開し、青少年の健全育成は基よりコミュニティの活性化にも大きく寄与しているものと思うが、活動状況及び活動支援の現況について伺いたい。

答1

教育部長 地域の指導者の皆様の協力により11種目27単位団が登録し、多くの子どもたちがスポーツ活動に取り組んでいる。スポーツ少年団の活動は、子

問1

スポーツ少年団の活動状況及び活動支援の現況は、部活動と地域スポーツクラブとの良好な関係構築を

問2

どもたちがスポーツに親しみ継続した活動に取り組む上で重要な役割を果たしており、市の施設を使用する場合の使用料の減免、競技大会等で使用する場合の予約を優先する等の活動への支援、助成金の交付、団員の加入促進、指導者の学習機会の促進等の支援を行っている。引き続き指導者の方々と連携を図り、より一層の活性化支援に努めてまいりたい。

答2

教育長 部活動については、学校教育の一環として教育課程との関連が図られるよう留意すると示されているように、

問2

学校の部活動と地域スポーツクラブの両方に所属し活動している生徒が増えてきている中、共に健全な成長の為の教育、スポーツ環境の充実を支援するパートナーという考え方の下、良好な関係構築等が重要と考えるが、ご所見を伺いたい。



一則 議員
諏訪

問1

避難所となる学校体育館や公民館へのWi-Fi（ワイファイ）環境の整備について考えを伺いたい。

答1

総務部長 学校体育館でWi-Fiを利用するには、新たにアクセスポイントを設置することで活用は可能となるが、一度に多くの人の利用に耐えられるような環境が整備できるのか、学校と共有することについてのセキュリティ対策が十分図れるかな

問1

避難所のWi-Fi環境の整備を

問2

複合災害時の体制及び対応策等は

ど課題がある。また、公民館等への設置については、通常利用時における必要性や効果等も検証する必要があると考えられる。

避難所へのWi-Fi環境の整備については、これらの諸問題等を整理した上で、導入の必要性について研究・検討してまいりたい。

問2

複合災害に対する認識、体制及び対応策について伺いたい。また、浸水が予想される地区に、排水ポンプの設置などの対

答2

総務部長 本市の地域防災計画における複合災害の位置づけは、その発生を考慮しながら風水害対策計画の避難計画の中に盛り込んでいるが、複合災害を想定した体制及び対応策等については、具体的な計画は定まっていない状況である。

茨城県地域防災計画においても、現段階では、複合災害の具体

答2

建設部長 他市で設置されている事例とすべての条件が一致する訳ではないが、源氏川などに既に設置されている樋管や出水時の水門の管理体制、今後の気象状況を注視し、国や県など関係機関へ働きかけを行っていくことを考えている。

【諏訪 一則 議員 質問事項】

- 安心安全のまちづくりについて
- 安心安全な生活環境の確保について

【藤田 謙二 議員 質問事項】

- スポーツ環境の充実について
- 教育環境の充実について
- 観光の振興について



菊池 勝美
議員

問1

昨年7月末の集中豪雨は、特に金砂郷地区の北部が被害に見舞われたが、金砂郷支所には雨量計が設置されてなく、雨量は不明である。市内の状況把握や避難勧告・指示等が必要と考えるが、設置場所等について伺いたい。

答1

総務部長 雨量計については、市内14箇所で、常陸太田地区5箇所、金砂郷地区1箇所、水府地区4箇所、里美地区4

問1

雨量計の設置状況は

問2

河川管理者との協議は

問2

昨年7月末の集中豪雨の際に金砂郷地区の北部において床上・床下浸水が発生したが、現場の状況を見ると、河川敷に繁茂した竹、それに上流からの流木等が引っかけり、また、長年にわたつての土砂の堆積等が原因と考えられるが、河川管理者との協議について伺いたい。

答2

建設部長 久慈川流域の市町村で構成する「久慈川改

修期成同盟会」において、同水系各河川の改修については、各管理者に対し要望活動を行っており、それぞれ事業が進められている。個別の箇所においても、関係する町会から河川敷の竹木の撤去や、堆積した土砂の除去等の要望書に基づき市の意見を付し各河川管理者に進達している。特に浸水被災地区については、再度強く要望していきたい



平山 晶邦
議員

問1

学校は、一定規模の集団の中でさまざまな関わりを通して、子どもたちに確かな学力と豊かな心、健やかな体を確実に身につけさせ、健全な人格の育成を目指す教育の場であると学校整備計画で謳っている。昨年は山田小の一年生が1人、今年は西小沢小が3人、郡戸小が7人、幸久小が8人で、本市は少子化の影響により現実には大変厳しい学校環境になっている。本市が目指す一学級

問1

学校統廃合の目標年次を市民に示すべきと考える

答1

教育長 現在の統廃合に関する整備計画は、策定後2年が経過し、地区内の子ども

20人から30人は難しい状況である。私は学校はクラスで集団での遊戯や競技を行うことができる人数ではないかと考えている。学校施設整備計画の学校統廃合実施計画の中で、統廃合の目標年次を市民に示すことによって、具体的な課題やさまざまな意見が聴取され、統廃合への理解が進むと考える。計画に統廃合する統廃合想定年次を示すべきと考えるがご所見を伺いたい。

り、できるだけ今年度中の早い時期に必要な修正をしていく。併せて、統廃合が想定される学校等については、学校、保護者、当該地区の皆様へ想定年次を提示し、懇談会や説明会等を進め、関係学区内の合意形成を丁寧に図ってまいりたいと考える。

2年が経過し、地区内の子ども人数も変動している。児童数の推移を毎年検証する必要がある。統廃合までには、場所の決定や通学対策、保護者や地域住民等との調整に2年から3年を要しますし、急激な子ども人数の変動にも対応できるように、整備計画の基本的な考えに基づき、早急に想定年次を加えた計画の見直しに取りかか

【平山 晶邦 議員 質問事項】

- 土木・建設技術者職員の採用について
- 合併特例債の仕組みと今後の合併特例債を使う事業について
- 常陸太田市学校施設整備計画について

【菊池 勝美 議員 質問事項】

- 防災対策について
- 有害鳥獣対策について



菊池 伸也
議員

問1 水府小・中学校の新校舎の配置計画について
問2 新校舎建設により通学路の見直しは

問1 水府小・中学校の校舎が、新しく建設されることは承知している。すでに、建設予定地の地質や新たな詳細設計の段階であると思う。そこで、配置計画と建設場所の地質調査について伺いたい。

答1 教育部長 水府小・中学校一貫教育学校新校舎建設計画は、公募型プロポーザルにより設計提案を受け学校敷地北側のグラウンドに木造2階建校舎を建設

する。校舎は、南側に管理教室棟、その裏側に特別教室棟を配置し、校舎の西側に屋内運動場を配置し、校舎の南側にグラウンドを整備する。

次に、建設場所の地質調査としてボーリング調査を4箇所で行ったところである。この調査は、建物位置の確定に先立って行う調査であり、建物の基礎地盤としての支持層の確認及び安全性を確認するもので、この結果、安全性が確定できた事により、校舎の位置を決定し実施設計を進めている。

答2 教育部長 水府小・中学校児童生徒の通学路は、学校坂下のバス停から学校まで長い坂道であるため、新校舎が学校敷地の北側に配置されることから、今後、学校やPTAの方々と調整を進めながら、学校敷地までの通学路の短縮を図るため「旧虹の家」進入路から学校敷地へ上げられるよう、外構工事と併せて、検討してまいりたいと考えている。



深谷 渉
議員

問1 小中一貫教育学校に特認校制度の導入を求める
問2 消防団員の準中型免許取得に公費負担の検討を

問1 里美、水府小・中一貫教育学校について、今後の児童、生徒数の推移を考えた場合、市内全域から通学できる小規模特認校制度の導入を検討すべきと考えるが、そのご所見を伺いたい。

答1 教育部長 平成36年度の児童生徒の見込み数を今年度と比較すると、里美小は、児童数55名で38名の減、里美中は、生徒数42名で19名の減となる見込みであ

る。水府小は、同様に児童数78名で21名の減、水府中は、生徒数40名で32名の減となる見込みである。中長期的に見ると、児童生徒数が著しく減少することも懸念されることから、里美・水府の小中一貫校については、それぞれの特色ある教育を推進しながら今後、「特認校制度の導入」について検討を進めてまいりたいと考えている。

問2 平成29年3月12日の道路交差点法改正により、普通免許で運転できるのは車両総重量3・5トン未満の車両になる。改正以降に免許を取得した方が、消防団に入団すれば、3・5トン以上の消防車両を運転するには、準中型免許が必要になる。3・5トン以上の消防車両数と準中型免許取得の際の公費負担の検討を求め

答2 消防長 3・5トン以上の消防車両は22台である。現在の団員の免許取得状況から、新たな準中型免許の新設に伴う、本市の消防団活動に支障が出るという状況ではないので、現在のところ公費負担制度の創設については考えていない。今後、改正以降の免許取得の団員が増え、活動に支障が出る場合は、状況調査をしながら考えていく。

【深谷 渉 議員 質問事項】

- 教育について
- 市営住宅について
- 消防について

【菊池 伸也 議員 質問事項】

- 教育環境の整備について



宇野 隆子 議員

問1 東海第二原発は、今年で運転40年を迎える老朽原発である。半径30キロ圏内に96万人が住み、実効性のある避難計画は立てられてない。3月議会で「運転延長・再稼働反対の請願」が市議会において「趣旨採択」となったことについて、市長の見解を伺いたい。また、新安全協定に基づく再稼働の可否について市長は何を基準に判断されるのか伺いたい。

答1 市長 議会の「趣旨採択」は重く受け止めた。新安全協定の締結によって、6市村が同意しない限り再稼働には至らないという認識である。再稼働の可否については市民の安全を基準に判断する。

問2 県内では日立市、北茨城市、高萩市など9市1町がランドセルの無償配布を行っており、子どもと保護者、祖父母にも

大変喜ばれている。石岡市は5色から選べるようになってきている。小学校に入学する子ども一人ひとりが同じスタートラインに立ち、差別感を持たず学校に通える環境がつけられることは大切である。入学時の保護者の負担も軽減される。地元で発注できれば経済効果にもつながる。入学記念のお祝いとして小学校新一年生へのランドセルの無償配布を求めたい。

答2 教育部長 すべての児童のランドセルが同じものでそろうという心理的な安心感や、入学準備に多額の費用を要する子育て世帯への経済支援につながるメリットや自由に選択できなくなるなどのデメリットもある。すでに実施している県内市町村や近隣市町村の実例調査、保護者の意見を参考にしながら今後の研究課題とした。

- 【宇野 隆子 議員 質問事項】
- 東海第二原発について
 - 教育行政について
 - 市道0139号線（仮称 真弓トンネル含む）について
 - 国民健康保険税の引き下げについて
 - 小学校新一年生へのランドセル支給について



高木 将 議員

問1 将来の常陸太田市のまちづくりを市民の皆さんと共に創造するには、政治や行政に関心を持っていたが、各選挙の投票率を高めることが必要である。これまでの投票率向上対策と投票結果のデータからの考察について伺いたい。

問1 投票率向上対策について
問2 保育園庭・小学校グラウンドの芝生化について

答1 総務部長 選挙時には、防災行政無線及び広報車による投票の呼びかけ、選挙公報の市ホームページ掲載や新聞折り込み

み、懸垂幕等の掲示、市フェイスブックによる情報発信等を行っている。また、平成28年度には、4箇所の投票所をより利便性の高い施設へ変更した。さらには、市内高校への出前講座の実施、期日前投票所立会人や事務従事者に高校生を採用する等、若者の選挙への関心や投票率向上に取り組んできた。昨年の衆議院議員総選挙のデータから年齢階層別に投票率を見ると、20代・30代の若年層が著

答2 教育部長 芝生化の利点と、外遊びや運動時の、裸

は、維持管理労力や費用負担の課題もある。メリット・デメリットを研究し、先生や保護者の皆様の意見を聞き、今後の課題としていく。

- 【高木 将 議員 質問事項】
- 投票率向上対策について
 - 教職員の健康管理について
 - 園庭・小学校グラウンドの芝生化について

総務委員会

総務委員会では、条例の一部改正1件、平成30年度一般会計補正予算1件、合計2件の審査を行い、付託された2議案を全会一致で原案可決すべきものと決定した。

▼主な質疑応答

議案第45号 常陸太田市駐車場設置及び管理に関する条例の一部改正について

問 市営駐車場料金の算出方法やJR水郡線の定期利用者の減免の周知方法について伺いたい。

答 市営駐車場料金の算出方法については、周辺の民間駐車場の状況や近隣市町村の状況を踏まえて算出している。また、JR水郡線の定期利用者の減免については、今後、市の広報お知らせ版や現場への掲示等により周知を図っていく。

問 駅前第二駐車場(旧駅前駐車場)を無料から定期駐車場への経緯と駅前第一駐車場のコインパーキングはどういうものを設置予定しているのか伺いたい。

答 現在、駅前第二駐車場の利用者の多くは、一時的な利用ではなく、JR利用のため毎日同じ車の使用状況が見受けられる。そのため、駅周辺の定期駐車場との公平性やさらに

は、安心してかつ安定した駐車場を利用していただくため、今回の定期駐車場(有料化)への措置をした次第である。

また、駅前第一駐車場のコインパーキングについては、フラップ式駐車場で各駐車スペースにフラップ板を設置し、障害者駐車場を除く7台を予定。今後、今年の10月稼働に向けて準備を進めていく。



駅前第一・二駐車場を整備へ

議案第47号 平成30年度常陸太田市一般会計補正予算(第2号)について

問 生活保護システム費改修委託料について、現在、生活保護を受給している世帯・人数を伺いたい。

答 生活保護を受給している世帯数は300世帯で人数では、378名である。

【委員会構成】

委員長 高星 勝幸	委員 深谷 秀峰
副委員長 福地 正文	委員 諏訪 一則
委員 後藤 守	委員 森山 一政
委員 茅根 猛	

文教民生委員会

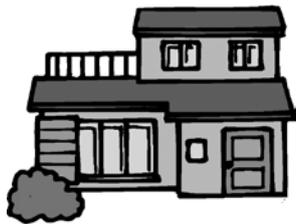
文教民生委員会では、条例の一部改正2件の審査を行い、付託された2議案を全会一致で原案決定すべきものと決定した。

▼主な質疑応答

議案第43号 常陸太田市空家等の適正管理に関する条例の一部改正について

問 空家等の適切な管理を推進するために協議会を設置することだが、委員のうちの有識者・一回の会議の時間・報酬の積算根拠について伺いたい。

答 委員には、弁護士・司法書士・土地家屋調査士・宅地建物取引業者・建築士・社会福祉士などの有識者の選出を考慮しており、会議の時間については、一回当たり2時間から3時間程度を見込んでいます。報酬については、当市における他の審議会等の報酬額と整合を図り定めています。



議案第44号 常陸太田市放課後児童健全育成事業の設置及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について

問 市の学童支援員の資格要件ごとの人数について伺いたい。

答 現在の支援員の人数については、公立放課後児童クラブにおいて、49名が在籍しており、資格要件ごとの内訳については、教諭となる資格を有する者が6名、保育士資格を有する者が19名、さらに高等学校卒業者で2年以上児童福祉事業に従事した者が24名である。

問 今回の条例改正で在籍中の学童支援員の雇用条件等に影響はあるのか伺いたい。

答 今回の条例改正は、教員免許状の更新を受けていない場合の取り扱いを明確にすること、対象者の拡大を図るためのものであるため、在籍支援員への影響はない。

【委員会構成】

委員長 深谷 涉	委員 川又 照雄
副委員長 藤田 謙二	委員 益子 慎哉
委員 宇野 隆子	委員 小室 信隆
委員 高木 将	



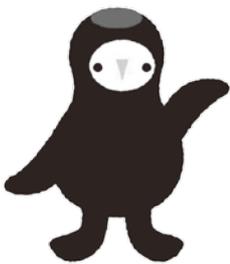
平成30年度 議会報告・意見交換会を開催しました

市議会では、5月10日(木)、11日(金)、15日(火)、16日(水)に、市内4地区において、市民を対象とした議会報告・意見交換会を開催し、各地区合計で、111人の参加をいただきました。

議会報告では、昨年度に各常任委員会が調査研究を行ってきた活動内容を中心に報告し、続いて行われた意見交換会では、「まちづくり(地域コミュニティ等)について」をテーマに、2班に分かれて意見交換会を行い貴重なご意見や要望を伺うことができました。

今後も、より多くの皆様にご参加いただけるよう、開催内容や方法等を検討してまいります。

次のページでは、市内4地区での意見交換をした主な意見を紹介します。



里美地区(里美文化センター)



金砂郷地区(交流センターふじ)



常陸太田地区(生涯学習センター)

意見交換会での主な意見

「まちづくり（地域コミュニティ等）」をテーマに2班に分かれて意見交換をしたところ、皆さんから多くの意見が出されましたので、主な意見を紹介します。



- ・もっと地域の実情に応じ、市民へ地域コミュニティ制度の説明をしてほしい。
- ・地域コミュニティの組織は必要ないと思っていたが、将来のまちづくりのことを考えて組織の設立に向け進めている。

- ・久米地区のコミュニティでは、ふれあい祭りなどを通し、住民同士の交流の場が増え若い方に好評を得ている。
- ・少子化の影響により、子ども会の数が減少しているが、就学前の子どもから中学生を含めた新たな組織が必要ではないか。

- ・地域コミュニティ組織を作っておかないと、今後、担い手がいなくなってしまうからでは、大変である。この組織の大切さを理解してもらうことが大事ではないか。
- ・将来に向けてのまちづくりのためにスタートした「地域コミュニティ」制度である。各地区スムーズに進めてほしい。

- ・コミュニティ組織で地域全体が一つにまとまり活動しやすくなった。コミュニティ組織の利点を積極的にPRし推進する必要があると思う。
- ・町会とコミュニティ組織の役割をもっと明確にする必要があるのではないか。



議会運営委員会

4/20、5/21、6/1、6/12

第2回定例会の会期・日程等について

4月20日、第2回定例会の会期について協議、本会議に諮ることとし、「ひたちおたお知らせ版」及び市内施設・各支所窓口へ掲示することとした。5月21日には第1日の日程、議案等付託委員会、一般質問・議案質疑の通告期限及び一般質問の方法・時間制限について。6月1日は一般質問通告者について。12日には追加議案、最終日の日程、人事案件について協議を行った。



4月17日	4月18日	4月19日	4月20日	4月24日	4月27日	5月10日	5月11日	5月15日	5月16日	5月21日	5月30日	6月1日	6月5日	6月6日	6月7日	6月8日	6月11日	6月12日	
県北市議会議長会定例会、鉾田市議会総務企画常任委員会視察来庁	市町村長・市町村議会議長会議	茨城県市議会議長会定例会	議会運営委員会・全員協議会	議会運営委員会第84回定期総会	広報委員会	議会報告・意見交換会（水府地区）	議会報告・意見交換会（金砂郷地区）	議会報告・意見交換会（常陸太田地区）	議会報告・意見交換会（里美地区）	議会運営委員会・全員協議会	全国市議会議長会第93回定期総会	本会議（開会・議案説明）・議会運営委員会	本会議（一般質問）	本会議（一般質問）	本会議（議案質疑）・文教民生委員会協議会	総務委員会・総務委員会協議会	文教民生委員会	産業建設委員会・産業建設委員会協議会	本会議（採決・閉会）

議会日誌

全国市議会議長会、茨城県市議会議長会から表彰状

全国市議会議長会並びに茨城県市議会議長会定期総会において、福地正文議員、茅根猛議員、高星勝幸議員、深谷秀峰議員、菊池伸也議員に議員在職15年以上として、それぞれ多年の地方自治進展と市政向上に貢献されたことにより表彰状が贈られました。



福地正文 議員



茅根 猛 議員



高星勝幸 議員



深谷秀峰 議員



菊池伸也 議員

9月定例会会期日程（予定）

9月3日(月)	午前10時	開会・議案説明
5日(水)	午前10時	一般質問
6日(木)	午前10時	一般質問
7日(金)	午前10時	議案質疑
10日(月)	午後 1時	総務委員会
11日(火)	午後 1時	文教民生委員会
12日(水)	午後 1時	産業建設委員会
13日(木)	午前10時	決算特別委員会
14日(金)	午前10時	決算特別委員会
19日(水)	午前10時	採決・閉会

議会を傍聴しませんか!!

傍聴の受付は、当日、市役所本庁舎4階の議会事務局で行っています。お気軽にお越しください。(※議場内に車いす用傍聴席を設置しました。)



編集後記

5月に市内4地区において、市民を対象とした議会報告・意見交換会を開催したところ、多くの皆様に参加いただきありがとうございます。議会だより第153号では、議会報告・意見交換会や第2回定例会の内容を掲載いたしました。

早いもので4年の任期が終わろうとしています。この4年間、皆様にごの情報をわかりやすく、もつと議会が身近なものになるよう広報委員会委員一同、改革を行ってきた次第であります。

現在のメンバーでの編集は今号で最後となりますが、今後とも「議会だより」をよろしく願ひ申し上げます。(副委員長 福地 正文)

発行責任者 議長 益子 慎哉
 広報委員会 委員長 成井小太郎
 副委員長 福地 正文
 委員 高星 勝幸
 菊池 伸也
 深谷 秀峰
 木村 郁郎
 藤田 謙二



この議会だよりは再生紙を使用しています

議会だよりに関するご意見・ご感想をお寄せください。今後の本紙編集の参考とさせていただきます。

議会事務局 電話 0294 (72) 3111 Email gikaijimu2@city.hitachiota.lg.jp

議会事務局
メールアドレス

